

プラスチックの材料を知る

再生プラスチック



1 リサイクル可能性

回収された素材を再利用するため、廃棄物削減に貢献。

2 資源の節約

原油の使用を削減し、エネルギーや資源の消費を抑える。

3 品質の向上

技術進歩により性能や耐久性が向上。

4 削減された排出量

温室効果ガスの排出量が削減され、循環経済に貢献。



これらの特性により、再生プラスチックは持続可能な製品開発や環境保護に不可欠な素材です。

バイオマスプラスチック



1 再生可能な原料

植物や生物由来の廃棄物から製造され、石油資源の使用を減らし、環境への影響を低減します。

2 柔軟性と耐久性

従来のプラスチックと同様に多様な用途に利用することができます。

3 二酸化炭素の吸収

原料となる植物が生長過程で二酸化炭素を吸収し、製品の製造と分解による二酸化炭素のバランスを保ちます。

4 資源の多様化

サトウキビ、トウモロコシ、ポテトなどの植物や廃棄物から製造され、資源の有効活用を促進します。



これらの特性により、バイオマスプラスチックは環境負荷が低く、持続可能な製品開発に注目されています。

生分解性プラスチック



1 生分解性

自然環境下で微生物の作用により迅速に分解され、廃棄物問題に対処するのに役立ちます。

2 原料の再生可能性

植物由来の素材や生分解性ポリマーを使用し、石油資源の使用を削減し、再生可能な資源の利用を促進します。

3 環境への影響の軽減

製造や分解時の環境への影響が比較的に低く、排出時も負荷が軽減される可能性があります。

4 用途の多様性

食品包装や農業資材など様々な分野で利用され、幅広く対応しています。

5 正しい処理の重要性

分解には特定の条件が必要であり、正しい処理が重要です。



これらの特性により、生分解性プラスチックは従来のプラスチックよりも環境への影響を軽減し、持続可能な資源利用を促進します。